

# KIKAIYA

## TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

### 取扱説明書

## 手動式油圧ポンプ

品番: CP-700, CP-700B

この度は、KIKAIYA「手動式油圧ポンプ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます

\* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく組立て安全にご使用ください

\* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください



※製品改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございます

**コバヤシデンソー株式会社**

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) info@kikaiya.com

# 「ご注意」

適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ安全な作業をしていただく為、ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してからご使用ください。

本機を本来の使用用途以外の目的では使わないでください。(本製品の改造はしないでください)

本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

安全上の注意や製品仕様などは改良の為、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と取扱説明書に記載された内容が一部異なる場合がありますのでご了承下さい。

## ■開封時

商品が届きましたら、ただちに開封し次の項目を確認してください。

- ✓ ご注文商品と仕様に違いがないか。
- ✓ 本体に不備・異常がないか。

万一不具合(パーツ品の欠品、破損、動作不良等)が発見された場合は、すぐに販売店へご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身/動作をご確認ください

(本書記載内容は、改良のため予告なく変更する事があります)

## ■調査及び修理をご依頼の前に

\* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

\* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

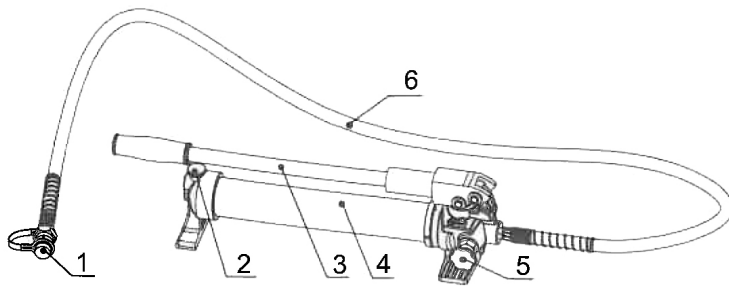
### 安全・使用上の注意事項

- ご使用前には本体に破損(割れ/亀裂等)やネジの緩み等がないか確認をしてからご使用ください。
- 使用中に異音・振動・破損が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。
- お子様の手が触れない場所で使用や保管をしてください。
- 作業に適した服装(安全メガネ・ヘルメット・手袋・安全靴等)でご使用ください。
- 防水仕様ではございません。濡れないようにしてください。
- 使用は水平で硬い土間の上で行ってください。
- シリンダーを使用する前に、シリンダーとカプラを慎重に点検してください。破損したカプラまたは破損したシリンダーに接続しないでください。
- 使用後は(オイル注入口)と(レリーズバルブ)を締め、ホースを外しカプラ先端のキャップをして収納します。
- 本機を落とさないでください。強い衝撃は故障に繋がります。
- 本機のホースやカプラを持ち上げて運んだりしないでください。
- 使用後はカプラにキャップをして塵や埃の侵入を防ぎ、湿気の少ない乾燥した場所で保管してください。
- 長期間の使用はシールキットの損傷に繋がります。オイル漏れがある場合は、シールキットを交換してください。
- 埃やゴミが付着するとシールキットが損傷し、動作不良の原因となります。
- オイル交換時は、オイルが透明で、埃がオイルに入っていない事を確認してください。

# 「仕様」

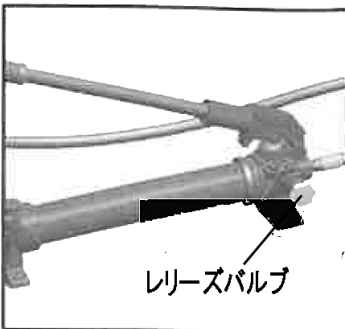
モデル (品番)	最高 使用圧力	一操作時の 吐出量	オイル内容量	カプラ内径	油圧ホース長さ
CP-700 CP-700B	(低圧)2Mpa (高圧)70Mpa	(低圧)13CC (高圧)2.3CC	約900cc (使用オイル:作動油#15)	23.3mm	1700mm

圧力自動切替え構造の為、低負荷時には2Mpa(1ストローク:13cc)で吐出し、2Mpaを超えると70Mpa(1ストローク:2.3cc)でオイルを吐出します。



番号	名称
1	カプラ
2	ネジ(オイル注入口)
3	ハンドル
4	本体
5	リリースバルブ
6	油圧ホース

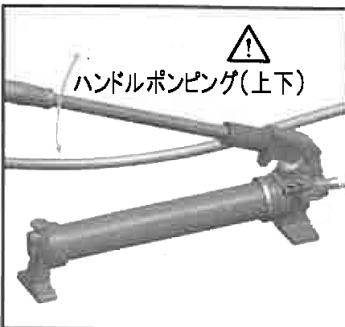
# 「使用方法」



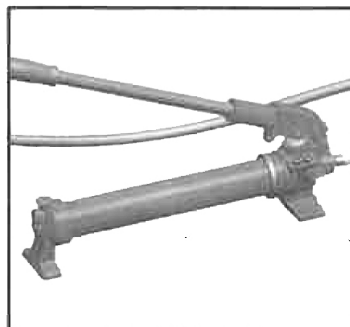
1.



2.



3.



4.

1. 本体のリリースバルブを締める。
  2. 本体の油圧ホース先端カプラを、対象物(シリンダー)側のアタッチメントに取付ける。  
※オス/メスカプラはしっかりと接続してください。
  3. 本体ハンドルをポンピング(上下)する。  
※ハンドルは軽くポンピングしてください。  
無理をすると本体故障の原因となります。
  4. 使用後は油圧ホースの接続アタッチメントを取り外し、本体ハンドルを元の位置に戻す。
- ※使用後はネジ(リリースバルブ)と(オイル注入口)を締めてください。
- ※使用後はカプラ先端キャップをして下さい。

## 「エア―抜き作業方法」(ご使用前にエア―抜き作業を行ってください)

1. ①の(オイル注入口)ネジを少し緩めて通気します。
2. 次に②のリリースバルブを緩め、ハンドル上下(ポンプアップ)を10回程行います。
3. 通常通り②のリリースバルブを締めてポンプアップします。
4. うまく作動しない場合は、上記2と3の動作を2~3回繰り返してください。

※①の(オイル注入口)ネジは少し緩めた状態でご使用頂く事により、100%の能力を発揮できます。  
また、使用後や移動時は必ず締めてください。油漏れの原因となります。

※②のリリースバルブは1回転以上緩めないでください。

(リリースバルブ内のスチールボールが飛び出して  
動作不良の原因となります)



## 「メンテナンス」

必要に応じて定期的に点検・確認をしてください。

- ホースと接続部の点検をし、必要に応じて接続部を締めなおしてください。
- オイル量の確認をし、オイル量が少ない場合は補充してください。(オイル量は7割程度が適量です)
- 能力を十分に発揮する為に、年1回のオイル交換をお勧めします。
- オイル交換時、交換用のオイルが透明で塵や埃がオイルに入っていない事を確認してください。  
(オイル内の塵や埃はシールキットの損傷に繋がり、故障の原因となります)

### (オイル補充方法)

1. 本機のオイル注入ネジが上を向いた状態で、給油ネジを取外します。
2. オイル(作動油)を補充します。
3. オイルがこぼれた場合はオイルを拭き取り、給油ネジを再び取付け締めます。

### ▶ 推奨オイル: 作動油(#15)

※製品故障につながりますので、その他のオイルは使用しないでください。